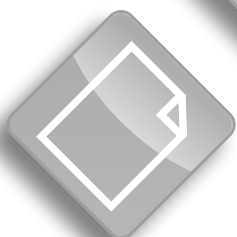
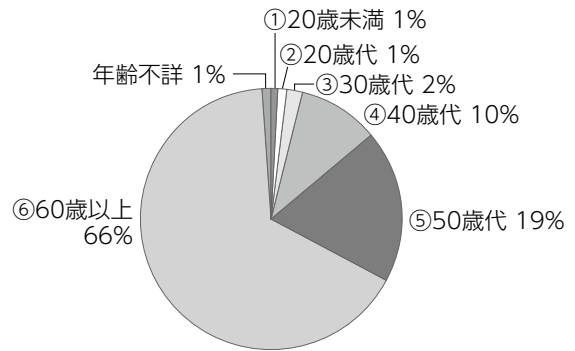


# 福島会場アンケート 集計結果



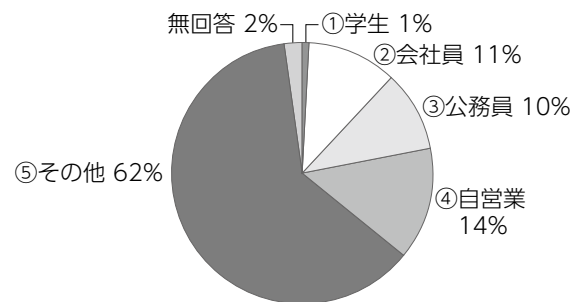
### 1 年齢構成

① 20歳未満	2人
② 20歳代	2人
③ 30歳代	4人
④ 40歳代	18人
⑤ 50歳代	33人
⑥ 60歳以上	117人
年齢不詳	1人



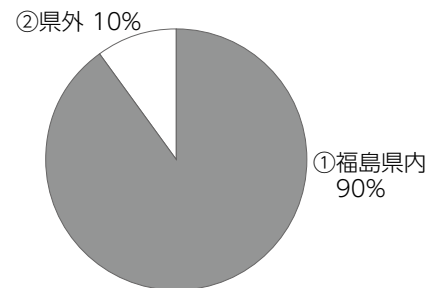
### 2 職業構成

① 学生	2人
② 会社員	19人
③ 公務員	17人
④ 自営業	25人
⑤ その他	110人
無回答	4人



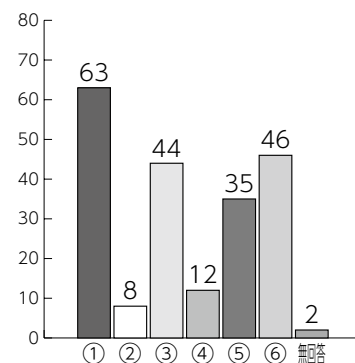
### 3 住まい

① 福島県内	159人
② 県外	18人



### 4 本シンポジウムを知ったきっかけ (複数回答)

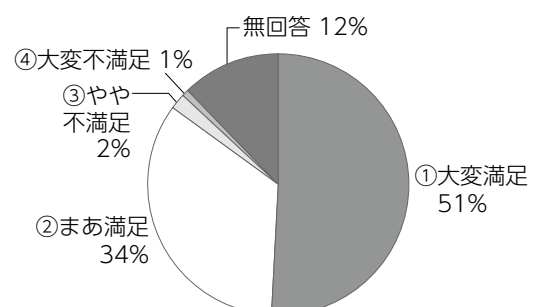
① 新聞広告	63人
② チラシ	8人
③ インターネット	44人
④ メールマガジン	12人
⑤ 知人・家族	35人
⑥ その他	46人
無回答	2人



### 5 本シンポジウムについて

#### (1) 全体満足度

① 大変満足	91人
② まあ満足	61人
③ やや不満足	3人
④ 大変不満足	1人
無回答	21人



(2) 自由記入欄より

太郎さん、とてもいい演奏でした。また会って聴きたいです。ありがとうございました。！！

阿部光裕さんの“覚悟”は、なるほどと思いました。児玉さんの提案を、国は真剣に受け止めて焼却を進めてほしい。金子さんの活動、共感しました。今後とも続けてください。

児玉先生のお話がとても良かったです。難しいと思われる話をとても分かりやすく、そして今後に向けての筋道を示して下さい非常に心強かったです。

常円寺御住職の行動力と発信力に被災者として、心強い思いを抱いています。児玉先生の実数値を提示してのお話は、説得力があり、信頼しております。今後も継続して科学的見地からの御助言、御支援をお願いいたします。

阿部光裕住職の放射能への怒りの感情が伝わってきた。。。私達は被災者なのに“ガンバッペ”と言われている。人権ってナニ？と、今日も実感できず参加してみた。児玉先生は科学者として、今回も被曝者に沿って、本当の事を言って下さる先生と感じた。大人がセシウムを貯めていると言われた事には驚いた。筒井先生の東電や政府から賠償して貰っていない、それもストレスの因かも・・・全く同感です。

パネル討論を聞いていて知らない事が、沢山あり正直驚いている。県内に居ながらにして、こうだから、まして県外の人には??この様な知識人の話を聞くチャンスが少ない。機会があったら、また参加したい。

4名のパネラーがそれぞれの立場で、分かりやすく述べられ大変良かった。これから自分が復興のために何をなすべきか。。。一つの指針を与えてもらった気がする。

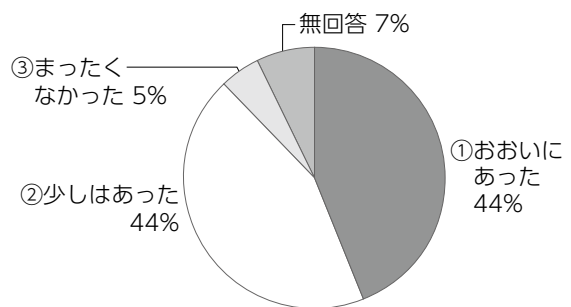
内容が違うそれぞれの演目を、パネリストの方々は、分かりやすく話され、とても為になりました。物的被害はなんとかなりますが、心的被害は、その人でないとなかなか分からず、話を聞いて「れんげの会」の活動は、胸につまる事がたくさんありました。一人一人の心の復興は長い道のりだと痛感しました。

被災地の人間として、正しい情報を聞き、考えを正していく良い機会となりました。穢れたものという意識が固くつくられる前に除染によって、少しでもきれいにしていく努力が必要であること。分かりやすいテーマです。内容が良かったと思います。

※主な回答を抜粋

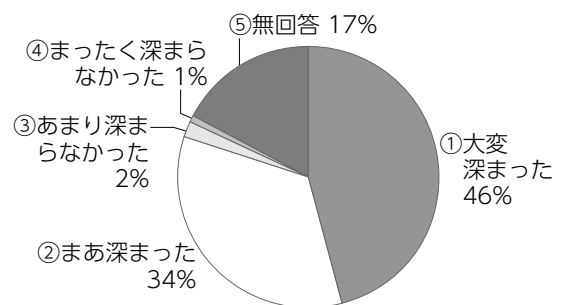
**6** 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか

① おおいにあった	78 人
② 少しはあった	78 人
③ まったくなかった	8 人
無回答	13 人



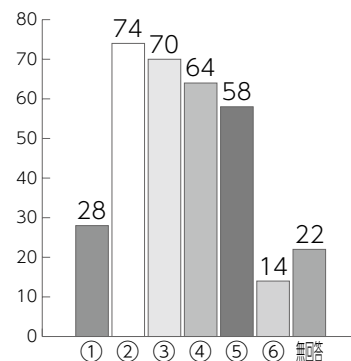
**7** 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか

① 大変深まった	81 人
② まあ深まった	60 人
③ あまり深まらなかった	4 人
④ まったく深まらなかった	2 人
無回答	30 人



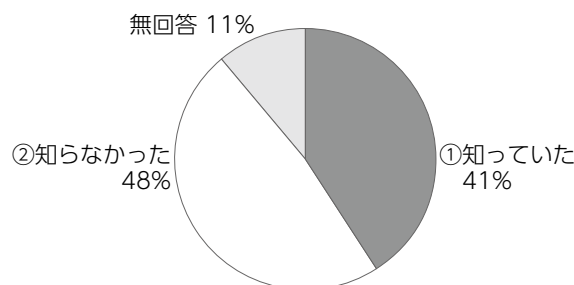
### 8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 当事者支援を行いたい	28人
② 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	74人
③ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい	70人
④ 今回のイベントの内容を、友達や家族に説明し、話したい	64人
⑤ ほかの人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	58人
⑥ その他	14人
無回答	22人



### 9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	73人
② 知らなかった	85人
無回答	19人



### 10 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催して欲しいテーマなど（自由記入）

今回のシンポジウムを開催して、おしまいではなく「福島と人権」と言われていることは、現在進行中であり、今後、数年して出てくる問題もあるかと思えます。今回、意見として出たものを日本全国の人に広める（学校の道徳の授業で扱うなど）活動をしてほしい。

人権と言うと、難しいことかと構えていましたが、とても身近で、普通に生きていく上での最低限の権利だということが分かりました。色々ありますが、福島が大好きな福島県民として参加しました。

人権の問題は、自分や身近な方が関わることがないと、どうしても他人事になってしまいます。時々、今回のようなイベントに参加することは、改めて人権について考える機会となり良いと思えます。また、福島の方々の気持ちが、少しかもしれないと感じる事ができました。

いじめや体罰など大きな社会問題になっていますが、本県の場合、大きな人権問題が忘れ去られないように、いろいろな場面での啓発・学習が必要と感じました。今回の開催は冬季で悪路なので、休憩時間を縮めるなどして、早目に終了するような臨機応変の措置ができれば良かったと思えます。

人権啓発事業の大切さは、分かっていましたが、内容については受身的なので、今後もこのようなシンポジウムがあれば、時間をとって参加したいと思いました。

東北から離れた場所で開催されたシンポジウムと比べ、参加者の受け止め方が違うような感じがした。児玉さんの具体的な内容は多くの場で伝えてほしい。今まで3回参加したが、今回がいちばん内容が良かったと思えます。

※主な回答を抜粋



## 福島会場 広報内容

### 広報実績

No.	事 項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島民報及び福島民友に新聞広告（半5段）を掲載。掲載日は、平成25年1月12日。</li> <li>※新聞広告の掲載内容等については、341ページ参照。</li> </ul>
2	TV広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島放送で15秒CMを10本放送（フリースポット）。平成25年1月9日～1月14日の期間。</li> <li>福島放送で30秒パブリシティCMを1回放送。</li> </ul>
3	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。</li> <li>福島地方法務局（2,000部）</li> <li>全国の法務局・地方法務局（980部）※福島地方法務局を除く</li> <li>福島県（2,000部）</li> <li>福島市（1,200部）</li> <li>福島県内市町村（580部）※福島市を除く</li> <li>会場近隣都道府県（60部）</li> <li>会場近隣政令市（20部）</li> <li>後援団体（570部）</li> <li>全国の人権啓発企業連絡会、経済団体（160部）</li> <li>シンポジウム実施会場（50部）</li> <li>福島県立盲学校等8団体（80部）</li> <li>福島市内の仮設住宅（140部）ほか</li> <li>※チラシ印刷部数：7,620部</li> </ul>
4	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。ボラ市民ウェブ、WAM NET（ワムネット）など計7サイトに掲載。</li> </ul>
5	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計3回配信。</li> </ul>
6	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
7	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
8	バス広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島市内を走る福島交通バス135台に広報ポスターを掲出。掲出期間は、平成25年1月10日（木）～19日（土）。</li> </ul>
9	新聞折込	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島民報及び福島民友を購読している中通り地区の計71,750世帯に広報チラシを配布。</li> </ul>

新聞・TV広告

著えよう 相手の気持ち  
育てよう 思いやりの心

みんなで築こう人権の世紀  
第64回 12月10日は人権デーです。

# 人権週間

12月4日～10日

ひとりで極まずにご相談ください  
いじめ、虐待、パートナーからの暴力、差別的扱い、プライバシー侵害、名誉毀損などの人権侵害を受けたり、見たりしてお悩みの方はお気軽にご相談ください。相談は無料、難しい手続きは必要ありません。

みんなの人権110番 ☎0570-003-110  
子どもの人権110番 ☎0120-007-110  
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810

インターネット人権相談受付窓口  
インターネット人権相談 検索 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>  
インターネット人権相談 検索 <http://www.jinken.go.jp/soudan/mobile/001.html>

法務省人権擁護ホームページ <http://www.moj.go.jp/JINKEN/>  
YouTube 法務省チャンネル <http://www.youtube.com/MOJchannel>  
人権啓発活動ネットワーク協議会ホームページ <http://www.moj.go.jp/jinkennet/>

人権シンポジウム in 福島

## 震災と人権

～一人一人の心の復興を目指して～

日時 2013年1月19日(土)  
午後1時30分～午後5時30分(予定)

会場 福島テルサ・FTホール  
〒980-0010 福島県福島市上町4-25  
\*福島県より徒歩約10分 \*福島県民センターより徒歩約20分 \*福島駅南口より徒歩約15分

【パネリスト】 阿部 光裕 (作家・評論家)  
金子 久美子 (福島県人権擁護センター長)  
龍彦 龍彦 (東北大学アイノトップセンターセンター長)  
簡井 雄二 (福島大学先端科学技術研究センター教授)  
横田 洋三 (公益財団法人 人権教育啓発推進センター理事)

【コーディネーター】 横田 洋三 (公益財団法人 人権教育啓発推進センター理事)

入場無料 事前申込制 先着順

お申込み・問合せ先  
TEL 03-5777-1802 E-mail event2012@jinken.or.jp  
FAX 03-5777-1803 ホームページ <http://www.jinken.or.jp>

平成24年12月2日(日)の毎日新聞・朝刊において、人権週間の広報記事とともに、人権シンポジウム in 福島の告知記事が掲載された。

福島民報 平成25年1月12日 朝刊掲載  
エリア：福島県  
部 数：247,463部

福島民友 平成25年1月12日 朝刊掲載  
エリア：福島県  
部 数：179,389部

人権シンポジウム in 福島

# 震災と人権

～一人一人の心の復興を目指して～

東日本大震災から間もなく2年が経過しようとしています。被災地福島の被害は目に見るものだけではありません。福島の実状を見つめ、真の復興のために、今後どう取り組んでいけばよいか、皆様と一緒に考えたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

日時 2013年1月19日(土)  
平成25年 13:30～17:30 (開場12:30)

会場 福島テルサ・FTホール  
福島県福島市上町4番25号

定員 450名(事前申込制・先着順)

申込方法 郵便 / FAX / メール

主催 法務省 / 全国人権擁護委員連合会 / 福島県 / 福島市 / 福島県民報社ほか

後援 福島県 / 福島市 / 福島民報社ほか

会場へのアクセス  
\*福島県より徒歩約10分  
\*福島県よりタクシーで約15分  
\*福島駅よりバスで約15分(福島駅西口上町停留所より5分・上町停留所へ徒歩約5分)  
\*福島県民センターより徒歩約15分(徒歩約15分)  
\*福島県民センターより徒歩約15分(徒歩約15分)

資料展示  
●公益財団法人 人権教育啓発推進センター「人権シンポジウム in 福島」事務局  
●被災地の子どもたちが作った震災絵巻メッセージ (ほか)

お申込み・お問合せ先  
公益財団法人 人権教育啓発推進センター 「人権シンポジウム in 福島」事務局  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 RD×芝大門ビル4F  
TEL 03-5777-1802 (受付) / FAX 03-5777-1803 / E-mail event2012@jinken.or.jp  
ホームページ <http://www.jinken.or.jp> 人権シンポジウム 福島 検索

入場無料

事前申込制

福島民報

福島民友

人権シンポジウム in 福島

# 「震災と人権」

～一人一人の心の復興を目指して～

1月19日(土)  
13:30～17:30

福島テルサ(福島市)

お問合せ先  
人権教育啓発推進センター「人権シンポジウム」事務局  
TEL 03-5777-1802 (平日9時～5時迄受付)

法務省 主催

入場無料  
(事前申込制)

ヴァイオリニスト  
増田太郎さん  
トーク&コンサート  
も開催!

人権シンポジウム in 福島

福島放送 スポットCM (15秒)  
平成25年1月9日～1月14日 放送  
10本放送 (フリースポット)  
※上記以外に、福島放送パブリシティ1回 (30秒) を実施。  
平成25年1月9日 放送

## 福島会場 実施内容の周知

### YouTube人権チャンネル



会場風景



阿部光裕さんの基調報告



金子久美子さんの基調報告



児玉龍彦さんの基調報告



筒井雄二さんの基調報告



コーディネーターを務めた  
横田洋三さん



増田太郎さんのトーク&コンサート

人権シンポジウム in 福島の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて、動画を配信した。  
<http://www.youtube.com/jinkenchannel>



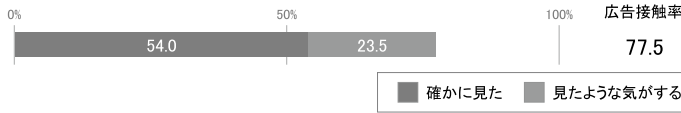
採録記事

平成25年2月24日（日）の朝日新聞・朝刊において、人権相談窓口等の広報記事とともに、人権シンポジウム in 福島の採録記事（上10段）と広告（下5段）が掲載された。※カラー

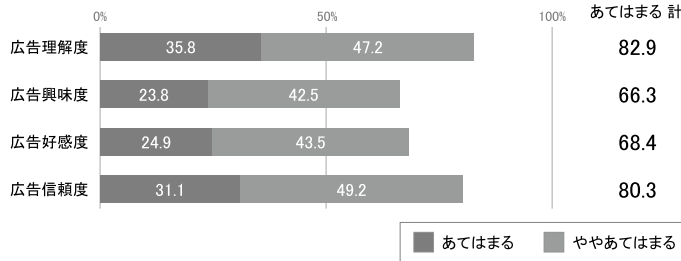
平成25年2月24日（日）の毎日新聞・朝刊において、人権相談窓口等の広報記事とともに、人権シンポジウム in 福島の採録記事（上10段）と広告（下5段）が掲載された。※モノクロ

## 新聞広告の効果測定結果 朝日新聞

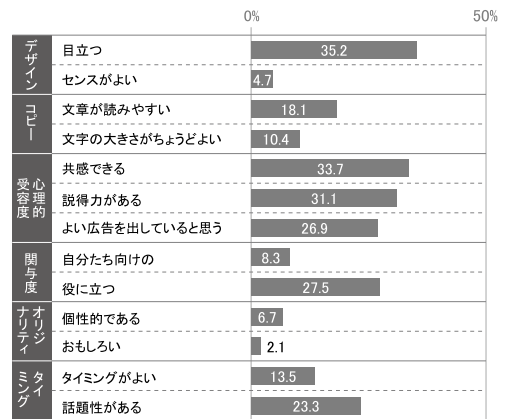
### 広告接触状況 (有効回答者<新聞購読者> n=213)



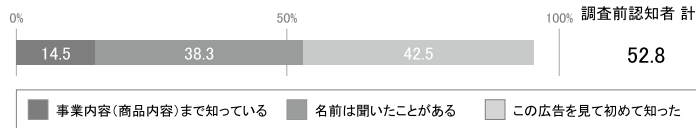
### 広告評価 (当該刊保有者 n=193)



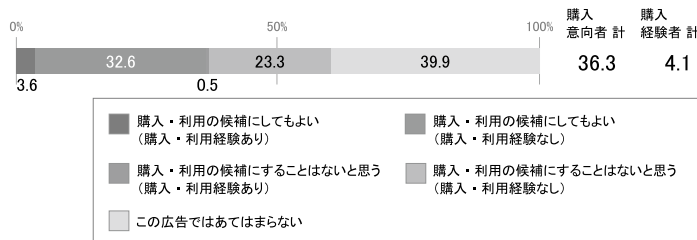
### 広告の印象 (当該刊保有者 n=193)



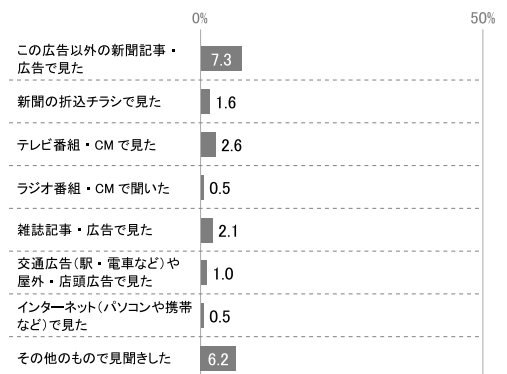
### 調査前企業(ブランド)認知率 (当該刊保有者 n=193)



### 広告商品の購入意向・経験 (当該刊保有者 n=193)

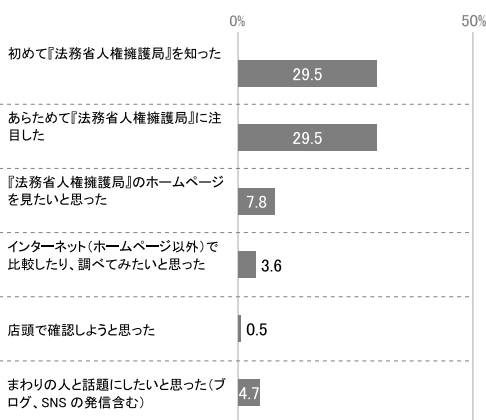


### 他の媒体での同一内容接触経験 (当該刊保有者 n=193)



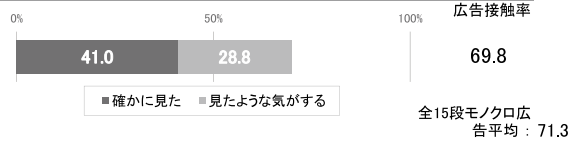
接触経験あり 計 17.6

### 広告による態度変容 (当該刊保有者 n=193)

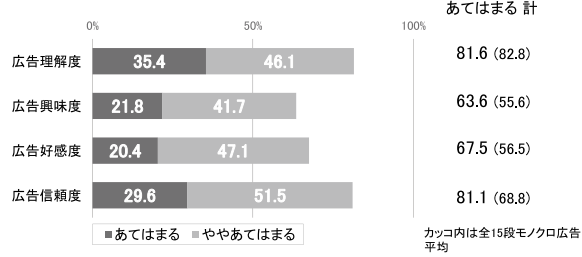


# 新聞広告の効果測定結果 毎日新聞

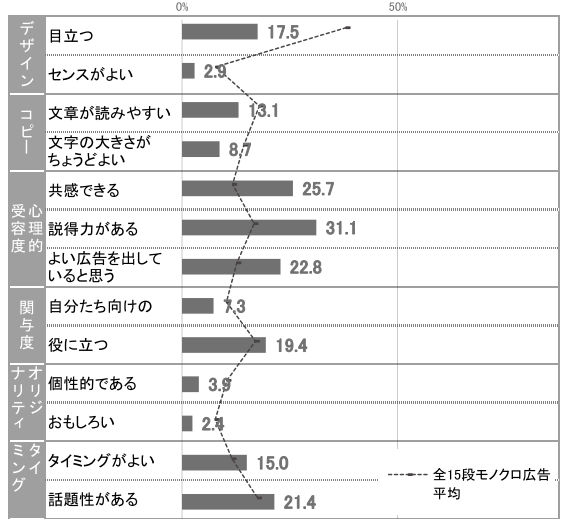
## 広告接触状況



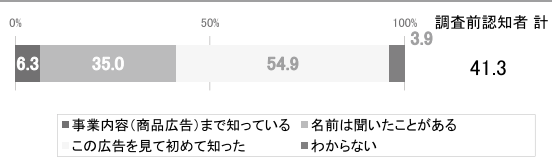
## 広告評価



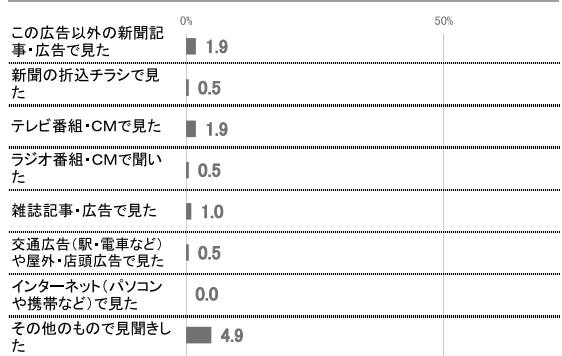
## 広告の印象



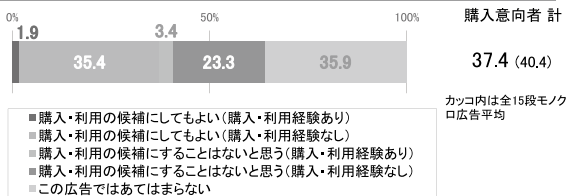
## 調査前「法務省人権擁護局」認知



## 他の媒体での同一内容接触経験



## 広告商品・サービスの購入・検討



## 広告による態度変容

